

率の向上を図るか投餌密度を最、増加させ、カキ幼生の捕食率を高める必要があると思われた。日令16まではS型ワムシを選択摂餌するため、L型ワムシまでのつなぎとして必要である。カキ投与回数については区別に飼育条件が異なったため、明瞭な結果はでなかった。

Ⅲ 大型水槽による飼育

材料と方法

1. 飼育方法

屋外コンクリート68t(4×10×1.7m有効水量60t)水槽内に0.5及び1tパンライト水槽を表6に示した個数設置し、それぞれに浮上卵を30～70gの範囲内で収容、ふ化完了後に死卵をサイホンで除去した。各水槽の中央にエアーストンを1個設置ゆるい通気量に調節し、60t水槽上面から約2mの高さに遮光網を設置した。(遮光率70%程度)

表6 飼育方法と仔魚収容数

回数	浮上卵 収容月日	使用水槽	浮上卵 収容数 g	ふ化 仔魚数 尾	ふ化率 %	カキ幼生 投与量 ×10 ⁶ 個
①	5月8日	1,000ℓ-①	55	98,000	68.53	12～50
	"	"-②	"	103,000	72.02	"
	"	"-③	"	95,000	66.43	"
	"	"-④	"	97,000	67.83	"
	"	"-⑤	"	116,000	81.11	"
	5月9日	500ℓ-①	30	67,000	85.89	6～30
	"	"-②	"	70,000	89.74	"
	"	"-③	"	69,000	88.46	"
②	5月19日	1,000ℓ-①	70	123,000	67.58	34～90
	"	"-②	"	120,000	65.93	"
	"	A 500ℓ-①	50	97,000	74.61	17～45
	"	"-②	"	100,000	76.92	"
	"	"-③	"	95,000	73.07	"
	"	"-④	"	95,000	73.07	"
	5月19日	B 1,000ℓ-①	50	88,000	67.69	34～40
	"	"-②	70	123,000	67.58	"
"	"-③	"	108,000	59.34	"	
"	500ℓ-①	50	110,000	84.61	17～35	
"	"-②	"	80,000	61.53	"	